地域かかわり隊ニュース　～みんなの幸せづくりのために～　　第 15 号　　令和 4 年 9 月 26 日発行
発行：大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会『地域かかわり隊』《事務局：生涯学習課内 ☎528－2635》

SHiTEN

視・私・始・支　点

地域やグループでの研修会・勉強会にぜひお声をおかけください！！

「こころの握手で感動の輪を広げよう！」を合言葉に、地域でワークショップ講座を開催しています。

メンバー紹介　（敬省略）

令和３年度　新規隊員１名加入！！

あなたの「座右の銘」は？

加藤　彰三　自ら生きていく活動には、生涯学習は、いい塩梅（あんばい）だ！

佐々木 敏子　とことん一生懸命．そして．ほどほどに

西田　厚子　誠実に今を生きれば　おのずと明日につながる

出町　明美　「ふだんのくらしをしあわせに」
一人一人の学びと幸せがまちの未来を創る
「しあわせになる」ための学びの機会をすべての人に届けよう

蓮井　敦　生きてる限りは心に笑顔を！

東　啓子　真面目とは実行するということ　＜by 夏目 漱石「虞美人草」＞

平野　宏　人が何をしてくれたか？ じゃなく自分が何をしたか！！

母坪 みち代　「昨日またかくてありけり　今日もまたかくてありなむ」
＜by 島崎　藤村＞

山田 浩勝　水之就下也　水は低きに流れる

「地域かかわり隊」メンバー募集中！

参加者の方々と共に学び育っていくことのできる学習活動「ワークショップ」に関心がある方、事務局（生涯学習課内☎ 528－2635）までご連絡ください。

地域かかわり隊の活動目的・内容

★人権の視点を取り入れた地域活動の普及。

★「生き生きとした(参加の意識をもち)、楽しく(一人ひとりが認められる)、将来につながる(参加者が向上心をもてる)」をモットーに、参加者と共に学び育っていくため、ファシリテーター(進行役)として、ワークショップなどの学習活動を行う。

ワークショップとは？

参加体験型学習ともいい、参加者一人ひとりが主体的に学習していく方法。話し合う課題(テーマ)を決め、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に、グループに分かれて話し合う。その後、参加者の皆さんに話し合った内容を発表する。

意見交換する・調べる・発表する・体験するなど、さまざまなことをしていく中で、お互いの学び合いから、自分の考えを深めたり、広めたりする学習方法。

世代間連鎖する“認知の歪み”

去る９月１日(木)、一般社団法人ＷＡＮＡ関西代表理事藤木美奈子氏を招き、「傷つけあう家族」と題し、「自分のための人権講座」が大津市役所で開催された。

子どもに異常な程怒りをぶつけるのは、自分の心に問題をもっているため。自分の親にされたようにしか子育てできない。親から受けた心の傷を癒さないと、子どもを愛することが難しい。

藤木氏は、生育過程の環境が原因で受けた心の傷を「育ちの傷」と呼んだ。

思考は、感情と体調に影響を与える。偏った極端で被害的な思い込みや決めつけ「認知の歪み」は、その人を育てた周りの大人の環境が大きく左右し、世代間連鎖する。

例えば街で人とぶつかった時、「わざとやられた。」と感じれば、被害的な思い込みであるが、「道が狭かったから仕方ない。」と捉えれば楽である。

相手の心や考えをコントロールすることはできないので、正しさにこだわる必要はなく、自分を楽にする思考を探し、定着化させることが大切だと語った。

「地域かかわり隊」のワークショップとは …

例えば、地域の行事（地蔵盆や運動会やお祭り）は必要か … というテーマに対し

必要 or まあまあ必要 or あまり必要ではない or 必要ではない　に分かれて発言します。

必要派

コミュニケーションを図る絶好のチャンスの場だから … 絶対必要だ。

不必要派

毎日仕事で忙しいし、ましてや役員なんかにあたったりしたら大変だし … 必要ないと思うけど。

どちらかと言えば必要派

役員にあたるのは勘弁して欲しいけど、行事に参加すると、みんなが話しかけてきてくれて楽しいので、なくなってしまうのは寂しいかなぁ。

どちらかと言えば不必要派

最近体があちこち痛いし … 出来れば参加したくないけど、近所づきあいがあるし … 行事が減ってくれれば良いけど。

互いの発言や立場を理解し認め合いながら、自分たちの身近な課題について考えることが大切です。そのためのお手伝いをさせてください！！